

特集

つながる、はじまる…あたらしい歴史

いま、知りたい！ 活力ある学校づくりの取り組み

平成26年7月に策定した岡谷小学校統合計画に基づき、平成28年4月からのよりよい学校統合をめざし、市教育長、岡谷、田中、神明の各小学校長と教頭、地域住民と保護者の代表、統合企画教員、統合経験教職員らからなる学校統合推進委員会を設け、統合に向けて取り組んできました。また、委員会内の6つの部会を中心に、新しい学校運営を模索しつつ、3校の教職員による合同職員会議なども開いて調整を進め、3校間での交流と仲間づくり、子どもたちの不安を取り除く取り組み、通学路の安全対策、学用品の調整、PTAの組織改編ほか、さまざまな課題の解決をめざして、対応を重ねてきました。

この3月、142年の歴史を刻んできた岡谷小は閉校し、同校の1～5（新2～6）年生は、4月から、田中小と神明小に分かれて通学します。統合により、児童数が約200名増える田中小は、校舎の改修を行い、新年度からは、校名が「岡谷田中小学校」と新しくなります。

「岡谷小学校統合を契機とした魅力ある学校づくり」は、文部科学省委託事業に採択され、国のモデルとしても注目を集めるなか、統合後の学校のグランドデザインも明らかになってきました。新年度を目前に、今月は、活力ある学校づくりに向けた統合の取り組み、この1年を振り返ります。

「交流」を柱に進められた「統合」の経緯

3校間の交流活動

① 3校合同遠足

5月の3校合同遠足を皮切りに、岡谷小・田中小・神明小の児童交流が始まりました。

遠足後には…「みんなとすぐに仲良くなれた。一緒になるのが楽しみ」(2年生)、「初めて会う人もいて緊張したけれど、一緒に遊べるのがうれしい」(3年生)などの声を聴くことができました。子どもたちは、現実の統合を前に、自分たちの未来をよりよいものにし、切実な感覚で「交流」を受けとめ、歩を進めようとしていると感じました。

② 各学年の交流

岡谷小のアスレチックで遊んだり、田中小や神明小の学校探検をしたり、スケート授業を一緒にするなど、学年ごとの交流も、年間2〜3回ほど行ってきました。運動会や音楽会で取り組んだ、ダンスや歌も発表していました。



岡谷小で遊ぶ3校の1年生



湖畔で、3校一緒にジャンケン列車

〈児童のこえ〉

わたしは、とつてもドキドキしていました。でも、しんめいしよう、おかやしよーうといっしょにたのしくできてよかったとおもいます。みんなやさしくて、いっぱいあそびました。しばらくあえないけど、げんきでいてほしいな。みんながそろろうつたのしいね。とつてもたのしいから、もつとあそびたかったな。こんどはもつとあそべたらいいな。

(田中小1年 Sさん)

クイズラリーは、班のみんなと協力してできました。そのおかげで2位がとれたのでうれしかったです。次回の神明小での交流では、もつと交流を深めたいです。

(神明小4年 Nさん)

③ 3校合同キャンプ

5年生は、夏に合同のキャンプを行いました。3校混合の交流班での1泊2日です。車山から八島湿原までを歩き通した子どもたちは、茅野市青少年自然の森に移動し、飯ごう炊きをしてカレーを作り、キャンプファイヤーで交流を深めました。



3校合同キャンプ



〈児童のこえ〉

キャンプファイヤーの火が「ボーボー」いついて、火もぼくたちと楽しんでいようような気がしました。輪を作り、たくさん踊りました。手をつないだり、声をかけ合ったりして、遠足の時よりもつと仲よくなつて、友だちが増えたなと思えました。このキャンプに参加できて、とても楽しかったです。岡谷小がなくなるのはさみしいけれど、新しくできた友だちと会えるのは楽しみです。

(岡谷小5年 Oさん)

登山の最後のソフトクリームは「終わった」という感じでとてもおいしかったです。キャンプはいろいろあったけれど、3校合同で仲良くできて良かったです。とつても楽しくて安心して神明小に行けるように感じました。

(岡谷小5年 Tさん)

④ 3校交流新聞「かけはし」

この3月に各校を卒業し、中学生になる6年生が「かけはし」になろうと活動しました。自分の学校のように、統合校の友だちに知らせたい、との思いから、交流新聞を制作し、学期ごとに発行。最上級生の想いと後押しに支えられ、全校



3校交流新聞かけはし

統合企画教員のこえ

【統合企画教員】

県の「学校統合を契機とした活力ある学校づくり」の取り組みに際し、今年度から岡谷市教育委員会の配属となった。任期は3年。岡谷での取り組みを、今後の学校統合へのモデルとする。

竹内良之先生

(岡谷小に過去6年間
在籍。田中小と岡谷
小の担当)



小林哲也先生

(神明小に過去4年間
在籍。神明小と岡谷
小の担当)



学校の統合は、どこにでもありませんし、昔からあったことです。ただ、岡谷小の場合は、統合先が2校にわたることや、また、独自の学校文化を育んできた伝統校であることから、並々ならぬ関心が寄せられてきました。

よりよいかたちに統合をというのは、すべての関係者の願いであり、もちろん、われわれの使命でもあるわけですが、子どもたちが主役、というのが大前提ですから、まずは、学び舎がなくなる、友だちと離ればなれに

児童の日常が回りました。こうした6年生発の行動が、縦のつながりや横のつながり、さらには卒業生と在校生、そして、未来の子どもたちの時をつなげていくように思います。

広がった交流

市と地域が推進してきた放課後の居場所づくり事業やPTA活動でも、交流が進んでいきました。

① 放課後居場所づくり事業交流会

夏休み中に、岡谷小『あかつしあ』、田中小『あやめ基地』、神明小『はばたきラボ』合同の親子マレットゴルフ&カレー交流会が行われました。



ナイスショット!の音が響き渡る湖畔公園

② 田中小・岡谷小合同親子レク (3年生)

田中小3年生の学級PTAの声がけで、岡谷小との合同親子レクも行われました。PTAのみなさんからのアプローチによる交流活動は、気持ちをつないでいくうえで、大きな意味がありました。



合同親子レク

③ PTAふれあいフェスティバル

神明小のPTA祭り『神明ふれあいフェスティバル』に、岡谷小の子どもたちや保護者も参加しました。なかには、自分は岡谷田中小に行くけれど、神明フェスに行ってみたという子どももいました。担任の先生が「どうして行ってみたの?」と尋ねると「友だちが行く学校が、どんな学校か見たいと思った」と答えたそうです。



神明小フェスティバル

知らない子どもたちと顔を合わせることに不安に始まった交流活動も、回数を重ねることに不安が和らぎ、楽しみな気持ち、期待や安心へと変わっていききました。

環境整備

校舎改築などのハード面と、安全パトロールボランティア体制の整備などのソフト面を両輪とすることで、子どもたちが安心して登校できる学校環境を整えてきました。

① 田中小の校舎改築

7月に着工した工事は、子どもたちが登校しない夏休みに集中的に行い、ピロティのゴムチップ舗装、放送室スタジオ・倉庫とたんぼぼ・ひまわ

り学級改築、校庭、体育館、プール改修などが完工。その後は、学童クラブ棟の建設、既存教室の改修にとりかかりました。



新しくなった田中小学童クラブ棟

なお、岡谷田中小は、統合の拠点校として、岡谷小の思い出の品々を展示する郷土展示室を増築し、岡谷小の伝統を引き継いでいきます。

② 通学路の安全対策

神明小では、今年度「神明っ子がお見守りたい」が発足。通学時の子どもたちの安全を、地域のボランティアのみならずが見守ってくださっています。「笑顔であいさつをする子どもが増えた」、「子どもたちと会話が生まれるようになってきた」と、心のつながりに寄せるうれしい言葉も聞かれました。



車に気をつけて渡ってね

③ アヤメ定植作業

田中小では、校章にもなっている「あやめ」の生育環境をよりよいものに行い、PTA作業でアヤメの定植を行いました。アヤメ畑には元々田中小にあった野アヤメのほかに、地域の人

なる岡谷小の子どもたちの気持ちをくむことを一番に考えてきました。それが、学校間の交流を「3校」ですることに。なった理由でもあります。

交流によって、不安が期待に変わり、新しい友だちが増える喜びや楽しさを知る、これは、3校の子どもみんなが味わった体験です。日々全力で「最後」に向きあっている岡谷小の子どもと、田中小や神明小の子どもでも、もちろん温度差もありますが、それでも、新しい学校に生まれ変わる、岡谷小の伝統や文化も継承していく、という空気にみんなが包まれて、どこの子どもたちも、雰囲気がよくなくなっていきました。それがプラスに作用して、保護者にも伝播していると感じます。変化とか、新しく、という、身構えてしまいがちですが、実際には、今までしてきたこと、今あるものを掘り起こして価値づけていくことなんですね。いろいろな調整をしていくなかでは、もちろん、それぞれに大切にしてきたものやかたちが違ったりするわけで、戸惑う場面もありましたが、そのたびに、子どもたちにとってどうか…という原点に立ち返ることで、着地点をさがすことができました。

4月2日には、カノラホールで、岡谷市学校統合記念式典を開催します。岡谷田中小と神明小の新2、6年生とその保護者も全員参加予定です。

から分けていた
だいたハナシヨ
ウブも植えまし
た。職員玄関奥
の日陰部分に
は、やまびこ公
園より木製チツ
プをいただき敷き詰めました。



田中小の職員玄関へと続く通路

④ アスレチック遊具の設置

神明小の開校50周年記念事業の1つとして、アスレチックを製作しました。このアスレチックには「歴史・伝統のつながり」、「お互いのつながり」、「岡谷小とのつながり」という3つのつながりの意味が込められています。岡谷小自慢のアスレチックで思いきり遊ぶ子どもたちの姿が、来年度も神明の地でつながっていくように思います。



みんなアスレチックが大好き!

⑤ 地域との連携

校舎改築と施設整備のなか、田中小では、校庭にあつたメタセコイアの大木を伐採することになりました。学校や子どもたちが、伐採した大木の有効利用を考えるなか、商工会議所をベースにまちづくりの活動をしている「だもんで」のみなさんとつながりが生まれました。「だもんで」には、岡谷小・田中小・神明小の卒業生も。何か協力したいという「思い」から、岡

谷小閉校式典で放映した思い出DVDの作成、新しい学校で未来に向けて時を刻んでいく時計づくり(伐採木活用)、感謝の気持ちを込めて岡谷小を磨き上げる清掃イベントなどが実現しました。



このメタセコイアの木を有効利用できないかな

「最後」と向き合う岡谷小

① ありがとう 岡谷小大運動会

5月30日(土)、晴れ渡る青空の下、岡谷小の大応援団(保護者や地域のみなさんなど)が、にぎやかに人垣をつくる校庭で開催されました。最後の種目「岡谷おどり」では、地域間や世代間のつながりを見ることができ、身のなかに刻み込まれている岡谷小を、ともに確かめ合っているようでもありました。



家族3代で踊る「岡谷おどり」

〈地域のこゑ〉

子どもは3人、もうみんな卒業してしましますが、最後の運動会だから、来たいと思って…。いろいろ思い出しながら、校舎の写真を撮って回ってききましたよ。やっぱり、岡谷小の運動会はいいですね。

② ありがとう 岡谷小音楽会

10月1日(木)の音楽会も「最後」に思いを込めた、特別な行事となりました。歌は、子どもたちの日々の積み重ねが紡ぎだしたファンタジー。音楽は、練習の成果という以上の心の同調やほとばしりを奏で、命の輝きと希望にあふれていました。歌う心に、聴く心に「ありがとう」が響いて、学校全体が、さすがしい感動で満たされました。



気持ちを乗せて歌う子どもたち

③ 岡谷小閉校式典

3月末の閉校に先立ち、11月28日(土)に開催。子どもたちの「ありがとう 岡谷小」の歌も、開放した教室、思い出のアルバム、あかしあ窯の展示も、すべてが温かさに包まれていました。岡谷小に心を寄せて、卒業生も、保護者や地域のみなさんも多数話めかけてくださいました。宮坂校長の「すべてにありがとう」のこぼれを、すべての人がかみしめたとき、岡谷小142年の歴史をつないできた「ひと・もの・こと」が、心をつなぐ本当の絆となりました。



式典には、おおぜいの人が集まった

す。3校で歌い継いできた「みんな大好き」の合唱や交流をふり返るスライド上映、読み聞かせや見守り隊など、交流に携わってくださったみなさんからのビデオレター上映なども予定しています。

新年度は、両校が、児童会間での交流を深めていくことも決まっています。わたしたちの仕事は、現状の統合の実務よりはむしろ、統合後の学校のさらなる魅力づくりですので、統合学校間で実施してきたような交流を、今後、岡谷の全小学校の交流に広げていったり、中学、高校というように縦方向にもつなげていきたいと考えています。

この統合の経緯、経過をだいにすることで、岡谷版コミュニケーションのかたちも整ってくるはず。地域に息づく、根づく学校、地域とつくる学校、岡谷ならではの学びを、これからはオール岡谷で構築していく、というように…。

統合は、新しい未来と向き合うチャンスです。これからの2年間で、学校が、子どもたちひとりひとりの内面や日常をより健やかにする居場所となるよう、魅力と活力ある学校づくりが、市内全域に波及していくよう、新しい未来に向き合っていきます。

問合せ ● 岡谷市教育委員会
(教育総務課内 内線1211)